

(様式 1-3)

亶理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等 (宮城県交付分) 個票

平成 27 年 1 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	12	事業名	道路事業 (市街地相互の接続道路) (一) 荒浜港今泉線 (堤防部)	事業番号	D-1-1
交付団体	宮城県		事業実施主体 (直接/間接)	宮城県 (直接)	
総交付対象事業費	1,521,000 (千円)		全体事業費	1,521,000 (千円)	

事業概要

亶理町では、「安全で安心な防災まちづくり」の「主な事業等」として、渋滞緩和対策などの道路整備を行うこととしている。

(亶理町震災復興計画 P20・P21 「安全で安心な防災まちづくり」)

本路線は、荒浜地区 — 逢隈地区中心部を接続するものであり、津波により壊滅的な被害を受けた市街地から各集落を接続する道路を整備し、被災地間の交通円滑化を図る。

道路現況 : L=1,750m、W= 5.0(6.0)m

整備後 : L=1,750m、W= 6.0(12.0)m

これまで、平成 23 年度第 1 回申請において、平成 23 年度分として測量設計費、平成 24 年度分として測量試験費、用地補償費および本工事費、平成 24 年度第 4 回申請において、平成 25 年度分として用地補償費および本工事費、平成 26 年度分として本工事費を申請し、交付されている。

今回の申請は、平成 28 年度分として、本工事費を申請するもの。

当面の事業概要

<平成 24 年度>

調査・測量・設計、用地取得、工事

<平成 25 年度>

用地取得、工事

<平成 26~28 年度>

工事

東日本大震災の被害との関係

今回の津波により、亶理町では沿岸部から国道 6 号周辺までの全域で流失など壊滅的な被害を受けたため、市街地や各集落を接続する道路を整備することにより、快適な生活環境確保と、地域活力の想像に資するものである。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

亶理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等 (宮城県交付分) 個票

平成 27 年 1 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	13	事業名	道路事業 (市街地相互の接続道路) (一) 荒浜港今泉線 (一般部)	事業番号	D-1-2
交付団体	宮城県		事業実施主体 (直接/間接)	宮城県 (直接)	
総交付対象事業費	619,000 (千円)		全体事業費	439,000 (千円)	

事業概要

亶理町では、「安全で安心な防災まちづくり」の「主な事業等」として、渋滞緩和対策などの道路整備を行うこととしている。

(亶理町震災復興計画 P20・P21 「安全で安心な防災まちづくり」)

本路線は、荒浜地区 — 逢隈地区中心部を接続するものであり、津波により壊滅的な被害を受けた市街地から各集落を接続する道路を整備し、被災地間の交通円滑化を図る。

道路現況 : L=1,600m、W= 5.5(6.5)m

整備後 : L=1,600m、W= 6.0(12.0)m

これまで、平成 23 年度第 1 回申請において、平成 23 年度分として測量設計費、平成 24 年度分として測量試験費、用地補償費および本工事費、平成 24 年度第 4 回申請において、平成 25 年度分として用地補償費および本工事費、平成 26 年度分として本工事費を申請し、交付されている。

【事業間流用による経費の変更】(平成 27 年 9 月 25 日)

隣接する圃場整備事業との調整により、工事費が減額したため、D-1-3 (一) 荒浜港今泉線 (鳥の海) へ 180,000 千円 (国費 : 139,500) を流用。これにより、交付対象事業費は、619,000 千円 (国費 : 479,725 千円) から 439,000 千円 (国費 : 340,225 千円) に減額。

当面の事業概要

<平成 24 年度>

調査・測量・設計、用地取得、工事

<平成 25 年度>

用地取得、工事

<平成 26~27 年度>

工事

東日本大震災の被害との関係

今回の津波により、亶理町では沿岸部から国道 6 号周辺までの全域で流失など壊滅的な被害を受けたため、市街地や各集落を接続する道路を整備することにより、快適な生活環境確保と、地域活力の想像に資するものである。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式1-3)

亘理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等個票

平成27年12月時点

※本様式は1-2に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	40	事業名	農山漁村地域復興基盤総合整備事業 (漁港環境整備事業)	事業番号	C-1-4
交付団体	宮城県		事業実施主体(直接/間接)	宮城県(直接)	
総交付対象事業費	224,100(千円)		全体事業費	224,100(千円)	
事業概要					
東日本大震災の地震・津波被害により被災した荒浜漁港内の災害復旧事業と併せ、漁港における景観の保持、美化を図り、快適な漁港環境を形成するため、本基幹事業により施設の復旧を実施する。					
亘理町震災復興計画記載箇所 P35~36 2)水産業の復興					
当面の事業概要					
＜平成24年度＞防潮堤遅延のため(H25~H27実施) 測量:A=0.021km ² 設計:環境施設設計(広場、駐車場、植栽、便所)					
＜平成28年度＞ 環境施設工事:環境施設工(親水広場、駐車場、休憩施設、給水等設備、植栽)					
東日本大震災の被害との関係					
東日本大震災の地震・津波被害により、沈下、流出した漁港環境施設が利用出来ない状況にある。そのため本基幹事業により迅速に復旧することにより、地域の水産業及び、地区の発展に資するために実施する。					
関連する災害復旧事業の概要					
荒浜漁港災害復旧事業 25施設 C=5,737,688千円					

※効果促進事業等である場合には以下の欄を記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	

(様式 1-3)

亶理町復興交付金事業計画 復興交付金事業等 (宮城県交付分) 個票

平成 27 年 1 2 月時点

※本様式は 1-2 に記載した事業ごとに記載してください。

NO.	41	事業名	道路事業 (市街地相互の接続道路) (一) 荒浜港今泉線 (鳥の海)	事業番号	D-1-3
交付団体	宮城県		事業実施主体 (直接/間接)	宮城県 (直接)	
総交付対象事業費	570,000 (千円)		全体事業費	750,000 (千円)	

事業概要

亶理町では、「安全で安心な防災まちづくり」の「主な事業等」として、津波対策ための高盛土構造による二線堤としての道路整備を行うこととしている。

(亶理町震災復興計画 P20・P21 「安全で安心な防災まちづくり」)

本路線は、荒浜地区 — 逢隈地区中心部を接続する道路であり、津波により壊滅的な被害を受けた市街地から各集落を接続する道路を整備し、被災地間の交通円滑化を図る。

また、それとともに、復興まちづくり計画の一環として荒浜港に接続する当該区間を津波浸水対策のための二線堤の役割として、道路の嵩上げ整備 (TP+5.0m まで嵩上げ) を行う。

道路現況 : L=1,250m、W= 5.0(6.0)m

整備後 : L=700m、W= 6.0(11.5)m

これまで、平成 24 年度第 4 回申請において、平成 24 年度分として測量設計費、平成 25 年度分として用地補償費および本工事費、平成 25 年度第 7 回申請において、平成 26 年度分として本工事費を申請し、交付されている。

今回の申請は、平成 27 年度分として、本工事費を申請するもの。

【事業間流用による経費の変更】(平成 27 年 9 月 25 日)

他事業との流用土の調整により、工事費が増額したため、D-1-2 (一) 荒浜港今泉線 (一般部) より 180,000 千円 (国費 : 139,500) を流用。これにより、交付対象事業費は、570,000 千円 (国費 : 441,750 千円) から 750,000 千円 (国費 : 581,250 千円) に増額。

当面の事業概要

<平成 24 年度>

調査・測量・設計

<平成 25 年度>

用地取得、工事

<平成 26~27 年度>

工事

東日本大震災の被害との関係

今回の津波により、亶理町では沿岸部から国道 6 号周辺までの全域で流失など壊滅的な被害を受けたため、市街地や各集落を接続する道路を整備することにより、快適な生活環境確保と、地域活力の想像に資するものである。

関連する災害復旧事業の概要

※効果促進事業等である場合には以下の欄に記載。

関連する基幹事業	
事業番号	
事業名	
交付団体	
基幹事業との関連性	